


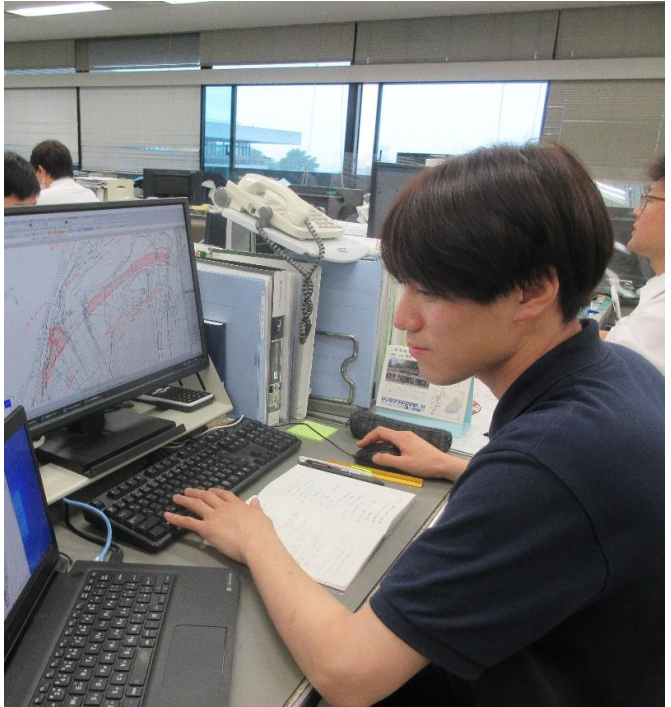


# 令和6年度奈良県・市町村土木職員採用共同試験 自治体PRシート

自治体名	奈良県	 <p style="text-align: right;">[県庁本庁舎]</p>
連絡先		
試験担当課	奈良県人事委員会事務局任用給与課	
所在地	〒630-8133 奈良市大安寺1丁目23-2 奈良県キャリアアクセスヴィレッジ3階	
電話番号	0742-81-8033	
ホームページURL	<a href="https://www3.pref.nara.jp/narakensaiyou/">https://www3.pref.nara.jp/narakensaiyou/</a>	
自治体紹介		
特徴・魅力はここ！	<p>奈良県は、わが国発祥の地であり、3つもの世界遺産に恵まれ、歴史も自然も豊かな上に、大都市にも近いという利便性もあります。</p> <p>こうした素晴らしい潜在力を活かすため、社会や経済の変化に対応して変えるべきところは変え、先人が守り抜きそして後世に伝えていくべき貴重な遺産や伝統は全力で守り、奈良県をあらゆる面で発展させていきます。</p> <p>【奈良県が特に力を入れているインフラ整備のプロジェクト】</p> <p>&lt;紀伊半島アンカールートの整備&gt;</p> <p>奈良県では、「道路整備基本計画」を策定し、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけて、その重点的な整備を推進しています。とりわけ、県南部地域を横断する国道168号や国道169号などについては、「紀伊半島アンカールート」と名付けて、防災機能向上や地域活性化、さらには近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応力強化を図るため、国と県で連携して早期整備に取り組んでいます。</p> <p>&lt;大和川流域の総合治水対策&gt;</p> <p>昭和57年の大和川大水害を契機とする大和川流域の総合治水対策については、「ながす・ためる・ひかえる」対策の3本柱で進めています。激甚化・頻発化する災害から県民の生活を守るため、河川改修だけでなく、ソフト・ハードの両面から対策に取り組んでおり、近年は市町と連携し、降った雨を川に流れ込む前に一時的にためる貯留施設の整備にも力を入れています。</p> <p>&lt;ならの道 リフレッシュ プロジェクト&gt;</p> <p>奈良県の道路整備率は全国の都道府県で最下位となっており、道路環境も良くないと言われています。とりわけ、舗装の修繕を求める声を多数頂いています。このため、令和6年度から令和10年度の5カ年度において、予算を集中的に投入し、道路利用者の皆さんに安全で快適な道路空間を提供するべく取り組んでいます。さらに、ドライブレコーダー画像やSNSの活用による道路異常箇所の早期発見・補修といった道路管理のDX化にも取り組んでいます。</p> <p>&lt;ぬくもりあふれる公園プロジェクト&gt;</p> <p>奈良県では県営都市公園を「こどもや子育て世代をはじめとした全ての世代にやさしい公園」にするため、令和6年度からの5年間で園路のバリアフリー化やトイレの洋式化、授乳施設の設置を進めています。</p> <p>Youtubeで動画を公開中ですので、ぜひご覧ください                  【土木職員の働く様子を動画にしました！】                  (<a href="https://www.youtube.com/watch?v=cC8q.jp26TvA">https://www.youtube.com/watch?v=cC8q.jp26TvA</a>)</p> <p>【奈良県庁紹介動画もあります！】                  (<a href="https://www.youtube.com/watch?v=M6ZumvhXAw4">https://www.youtube.com/watch?v=M6ZumvhXAw4</a>)</p> <div style="text-align: right;">   </div>	
職員数	一般行政部門：3,245人 うち土木職員：344人（令和5年4月現在）	

自治体名		奈良県	
<b>先輩職員紹介①</b>			
採用年度	令和3年度		
奈良県の職員になった理由	<p>就職活動をする中で、奈良県庁の土木職の現場見学会に参加した際に、土木工事に興味を持ちました。もともと奈良県出身ではないのですが、大学生の頃、奈良県に引っ越ししてきて、自然豊かで町中に鹿が歩いているといった、のどかな雰囲気の魅力を感じました。一方、奈良での生活を始めると狭い道や舗装の悪い道が多いと感じました。歴史あるお寺、自然豊かな町並みを色々な人たちに知ってもらいたいと思うからこそ、訪れるたくさんの人々が快適に観光できる場所にしていきたいと感じ、インフラ整備に携わることができる奈良県に就職することを決めました。</p>		
1日のスケジュール(例)	<p>《道路建設課の場合》  8:30 始業  8:30～9:30 メールチェック・対応  9:30～12:00 市町村及び土木事務所等への連絡調整  13:00～15:00 国への提出物の作成  15:00～17:00 課内説明  17:00～17:15 残務処理  17:30 退庁</p>		
仕事のやりがい 社会人としての成長	<p>入庁1年目、初めての職場は出先の土木事務所でした。土木事務所の仕事は、道路や河川などインフラの新設、改良や維持修繕を行うことです。工事価格の算定をはじめ、実際に現場に出向き、工事の進捗管理や地元調整等を行います。1年目から現場を任されるので、工事が完成したとき、大きな達成感を得ることができます。また、工事を受注した会社の職人さんと打ち合わせをしながら現場を進め、予定通り順調に動いている時や、近隣の方々から「ありがとう」とお礼を言われた時、嬉しさが込み上げてきます。大規模な工事だけでなく、歩道にできた段差の解消や道路脇の草刈りなど、小さなことであっても、誰かが困っていることを改善し、人々が安心して生活できるようにすることが私たちの仕事であり、やりがいでもあります。</p> <p>現在は道路建設課で勤務していますが、土木事務所で培った知識や経験が今の仕事に活かしていると実感しています。あわせて、自分自身の日々の成長を感じることもできる仕事であると思います。</p>		
受験者へメッセージ	<p>人のために何かしたい、人に喜んでもらえる仕事に就きたいと思っている方には、ぴったりの仕事だと思います。奈良県に暮らす人々の日々の生活を一緒に支えていきましょう。この記事を読んだだけでは、実際どんな仕事をしているかわからないと思います。奈良県の土木職の仕事に興味を持った、もっと詳しく知りたいという方は、お気軽に道路建設課までご連絡ください。(※問い合わせは県土マネジメント部総務課:0742-27-7489まで)</p>		
<b>先輩職員紹介②</b>			
採用年度	令和3年度		
奈良県の職員になった理由	<p>大学で土木について学んでいたため、その知識を生かすことができるインフラ整備に携わる仕事をしたいという思いがありました。様々な職種を考える中で、公務員は発注者の立場で計画段階から完成までの全てに携わることができることを知り興味を持ちました。また、私は生まれも育ちも奈良県であり、生まれ育った奈良県が良くなるために少しでも役に立ちたいと思い奈良県を志望しました。</p>		
1日のスケジュール(例)	<p>《高田土木事務所の場合》  8:30 始業  8:30～9:00 メールチェック・対応  9:00～10:00 地元要望対応  10:00～11:00 設計コンサルタントとの打合せ  11:00～12:00 事務所内での打合せ  13:00～16:00 現場立会(工事の施工状況確認)  16:00～17:15 発注資料作成  17:30 退庁</p>		
仕事のやりがい 社会人としての成長	<p>私は入庁して2年間、本庁内にある砂防・災害対策課に所属しており、土砂災害から住民の方々を守るための土砂災害対策に関する仕事を行っていました。奈良県には土砂災害の危険性が高い区域が多く存在しており、その中で市町村や地元から要望のあった箇所を工事实施に向け事業化できるよう、対策の優先順位や予算等を考えて箇所の選定をする仕事を担当していました。土砂災害対策は、住民の方々の命に直結するものなのでとてもやりがいのあるものだと思います。</p> <p>現在は、大和高田市にある高田土木事務所に所属しています。本庁の砂防・災害対策課に所属していた時は、県内全域を対象にどの箇所を工事实施に向け進めていくかを考え計画することが主でしたが、土木事務所では工事实施が決定した箇所について発注を行い、直接現場へ行き工事の進捗管理を行う等の監督業務を行っています。様々な業務を担当することで、あらゆる角度で物事を見る力が身についたと感じています。</p>		
受験者へメッセージ	<p>奈良県の土木職員は、道路や河川、砂防以外にも、まちづくりや公園に関すること等、様々な業務に携わることができます。また最近では、土木職員にも女性が増えており、男女関係なく働きやすい環境です。幅広い業務がしたい方や、奈良県をよりよく住みやすいまちにしたいという方はぜひ一緒に働きましょう。(※問い合わせは県土マネジメント部総務課:0742-27-7489まで)</p>		

自治体名	奈良県
募集概要	
求める人材・人物像	インフラ整備に少しでも関心があり、奈良県をより良くしたいという思いを持っている人
担当業務の 具体例	<p>【道路、河川、下水道、都市公園などのインフラ整備に関する業務】 土木職で入庁した職員はインフラ整備に関して、企画、計画立案、設計、施工、維持管理といったインフラが完成するまでの一連のプロセスに幅広く携わります。 インフラ整備は行政と建設会社、建設コンサルタント（設計会社）、測量・調査会社などが協力し、それぞれの技術を積み重ねることで実現されますが、公務員は全てのプロセスに主体的に関わることができるのが特徴です。</p> <p>【配属先と担当業務】 本庁配属の職員は主に企画、計画立案や必要な予算の説明などを行います。県内各地にある土木事務所に配属の職員は主に設計、工事の発注や現場監督業務等を行い、最前線でインフラ整備を担っています。また、完成した橋梁やトンネルなどのメンテナンス（維持管理）を行います。</p>
勤務時間	原則8:30～17:15（休憩時間12:00～13:00）※フレックスタイム制度あり
採用ステップ	<p>○第2次試験（論文試験・適性検査） 11月上旬から12月上旬 ▼ ○第2次試験（個別面接） 11月上旬から12月上旬 ▼ ○最終合格発表 11月中旬から12月中旬 ▼ ○任命権者による意向聴取 ▼ ○採用者の決定</p>
福利・厚生（待遇）	
初任給	令和6年4月1日採用の月給（初任給） …月給194,707円（短大新卒で奈良市内勤務の場合。地域手当を含む。） …月給183,033円（高校新卒で奈良市内勤務の場合。地域手当を含む。） ※職務経験のある方には加算される場合があります。
手当	扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務（時間外）手当、期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）など条件により支給
昇給	年1回
賞与	年2回（6月・12月） 令和5年度実績：年間4.5ヶ月分
休日休暇	<p>原則として土曜日、日曜日、祝日</p> <p>【休暇一覧】 年次有給休暇、結婚休暇、出産休暇、病気休暇、介護・看護休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、育児休業など</p> <p>【出産・育児に関する休暇等の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業：3歳未満の子を養育するために取得可。 取得状況（令和4年度実績）は、女性100%、男性35.6%です。</li> <li>・出産休暇：産前産後8週間に取得可。</li> <li>・部分休業：小学校3年生まで、1週あたり18時間45分を上限に取得可。</li> <li>・子どもの看護休暇：12歳までの子の看護のため、年5日を上限に取得可。</li> <li>・育児時間休暇：1歳3ヶ月未満の子の育児のため、始業・終業時に1日60分を上限に取得可。</li> <li>・遅出勤務：子どもの保育所等への送迎で、正規の始業時間までに出勤困難な場合、勤務時間を15分又は30分遅らせることができる。</li> <li>・配偶者の出産に伴う休暇：出産時の付添、入院中の世話、出生の届出等のため3日間取得可。</li> <li>・男性の育児参加のための休暇：小学校就学前の子の育児のため、妻の出産の日以後1年を経過する日までの期間中に5日の範囲内で取得可。</li> <li>・不妊治療休暇：年5日（体外受精等を受ける場合、15日）の範囲内で取得可。</li> </ul>
その他福利	<p>○健康管理 定期健康診断（年1回）、健康相談、メンタルヘルスカウンセリングなどの実施 人間ドック受診に対する助成制度もあり</p> <p>○給付・貸付 病気やけが、出産、災害などに対する給付制度あり 生活資金や住宅資金などの貸付制度も整備</p>

自治体名	奈良県
研修	<p>県職員としていち早く活躍できるように研修を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■土木職員向けの研修（土木新規採用職員等育成研修、【NEW!】1級土木施工管理技士資格取得研修、土木工事監督員研修、土木積算研修、CAD操作研修、現場研修など）</li> <li>■職位基本研修（新規採用職員研修、2年目職員研修、3年目職員研修、係長研修など）</li> <li>■能力開発研修（Office系ソフト応用、プレゼンテーション、ビジネス交渉術、クレーム対応など）</li> </ul>
配属・異動・昇任	<p>【配属・異動について】 年1回提出する自己申告書に記載された本人の希望や適性などを参考に配属先を決定 概ね3年で配置転換あり</p> <p>（採用後の一般的な異動のパターン） ◎採用後、本庁又は出先機関に配属 ↓ ◎概ね3年後、本庁勤務の場合は出先機関へ異動、出先機関勤務の場合は本庁へ異動 ↓ ◎異動先で更に概ね3年後、本人の適性や希望に応じて、本庁または出先機関へ異動</p> <p>【昇任について】 昇任は、人事評価（職員の能力・業績）、経験年数、適性など総合的に評価して実施 基本的な職制は以下のとおり</p> <p>◎主事級＞主任主事級＞主査級＞係長級＞課長補佐級＞課長級＞次長級＞部長級</p>
平均勤続年数	18.4年（一般行政職） 令和5年4月1日時点
有給休暇取得日数	12.6日間（令和4年実績）
管理職の女性比率	<p>（令和5年4月時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁課長級以上：12.1%</li> <li>・本庁課長補佐級以上：19.3%</li> </ul>